

アロマコーディネーター講座レッスンテキストブック内容変更（第9→10版）

2013年10月1日発行の第9版より、このたび2014年5月1日発行の第10版にて、以下変更点がありますので、ご案内いたします。

ページ	変更内容
P 20	②アプリコットカーネルオイル (Prunus armenica) ↓ ②アプリコットカーネルオイル (Prunus armeniaca)
P 21	③グレープシードオイル (Vitis viniferaL.) ↓ ③グレープシードオイル (Vitis vinifera) ④ヘーゼルナッツオイル (Gueviana avellana Mol, Coryllus AvellanaMol) ↓ ④ヘーゼルナッツオイル (Corylus avellana)
P 22	⑥ツバキオイル (Camellia japonicaL.) ↓ ⑥ツバキオイル (Camellia japonica)
P 23	⑦アボカドオイル (Perseaamericana) ↓ ⑦アボカドオイル (Persea americana)
P 24	⑨セサミ (ごま) オイル (Sasamum indicum L.) ↓ ⑨セサミ (ごま) オイル (Sesamum indicum)
P 26	⑬ボリジオイル (Borago officinalis L.) ↓ ⑬ボリジオイル (Borago officinalis)
P 28	②シアバター (Butyrospermum) ↓ ②シアバター (Butyrospermum parkii)
P 29	①カレンデュラオイル (Calendua officinnalis) ↓ ①カレンデュラオイル (Calendula officinnalis)
P 55	●アロマに役立つ解剖・生理学・・・精油の皮膚からの浸透 ↓ ●アロマに役立つ解剖・生理学・・・精油の皮膚への浸透
P 72	(2) 高価な香りの植物についての研究 本文2行目 『植物史』 ↓ 『植物誌』
P 86	●毒性 A の精油 表 ビューキュー (Agathosma crenulata) ↓ ビューキュー (Agathosma crenulata または Barosma crenulata)

P 87	※一部に校正ミスのテキストが出荷されています。P86 と同じ内容になっていますが、正しくは以下です。お詫び申し上げます。第 11 版で正式に修正します。 ●毒性 B の精油 表 ビューキュー (Agathosma betulina) ↓ ビューキュー (Agathosma betulina または Barosma betulina)
P 112	3. トリートメントしてはいけない場合とその理由 表の 15 妊娠の初期 (4 ヶ月まで) 安定期に入る 5 ヶ月に入って体調の良い日に行う。背中、首、腕のみ。脚と腹、胸はしない。 ↓ 初期は、トリートメントによる母体や胎児への影響を考え行わない。 安定期以降も、体調の良い日に限り、脚・腹・胸以外の部位にとどめること。
P 155	<準備するもの> ②使用する資材：蜜ろう 5g、・・・ ↓ ②使用する資材：蜜ろう 3g、・・・ <手順 1：クリーム用のキャリアを作る> ②ホホバ油オイル 3 回くらいに・・・ ↓ ②ホホバオイルを 3 回くらいに・・・

※上記にはございませんが以下追加をお願いします。

P 137 3. フレグランスの種類 説明文 1 行目
香料の割合 (賦香率) の読み仮名が「ぶこうりつ」となっていますが、正しくは「ふこうりつ」です。

以上、お手元での追記・修正をお願いいたします。

なお、

P 72 『植物史』→『植物誌』

P 112 トリートメントの禁忌の表「妊娠の初期」

については、過去試験への出題もありますが、採点時には以前のテキストに沿った解答でも正解といたしますので、よろしくお願いいたします。

平成 26 年 5 月 1 日 公開

平成 26 年 10 月 7 日 追記 (P87 の件)

J A A 事務局